

# 実例から学ぶ投信販売

ポートフォリオ分析 実践編

お客様のポートフォリオを確認・リバランスを提案しよう

# ポートフォリオ分析 実践編

お客様のポートフォリオを確認・リバランスを提案しよう

- このケースでは、お客様が保有しているファンドはリートや株式投信のみとなっており、とくにリートはリスクが高い商品となっています。

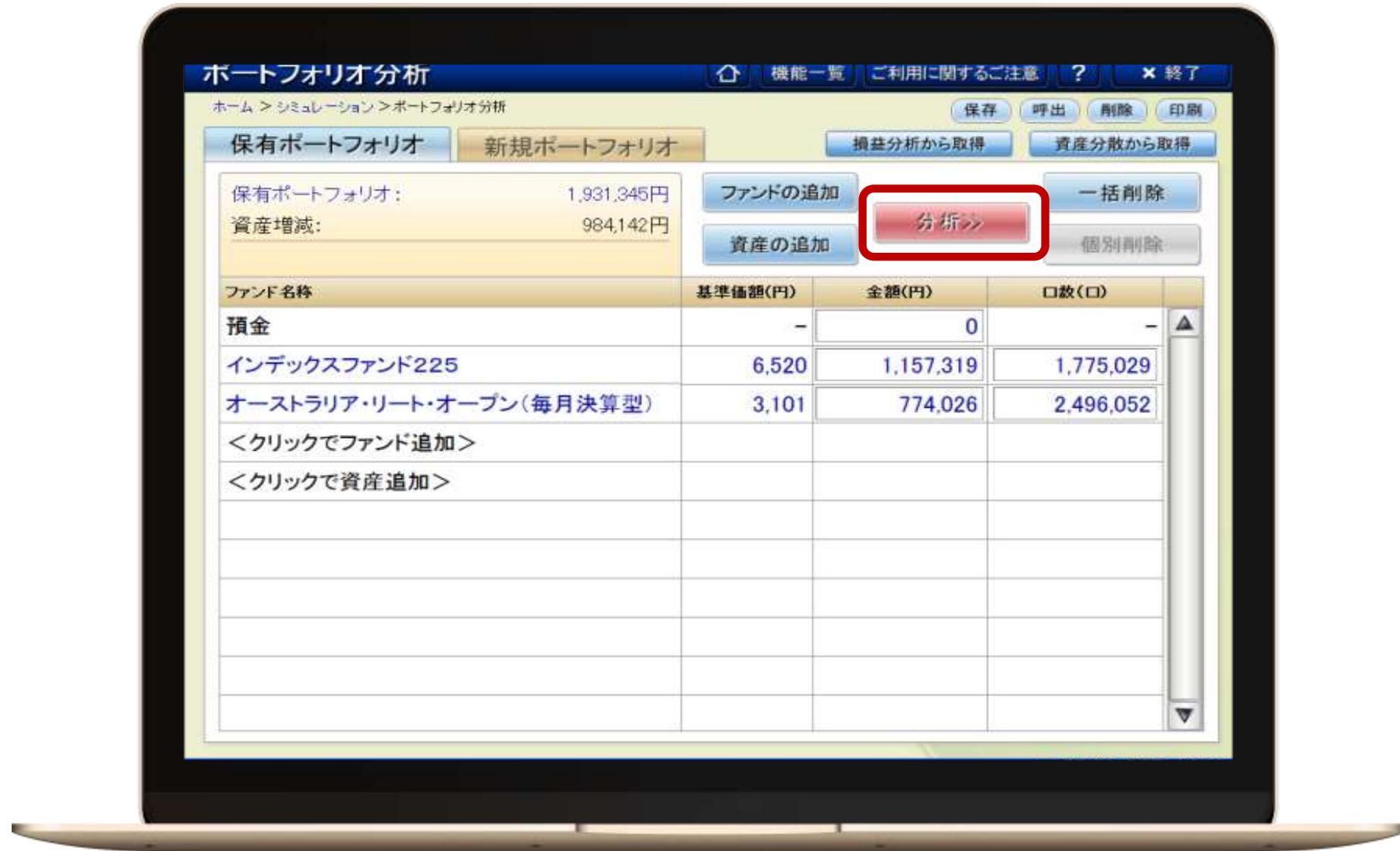
POINT

REBALANCE

- リバランスをご提案することで、お客様の信頼が得られます。また、定期的にご訪問するきっかけづくりとしてのリバランス提案は有効です。



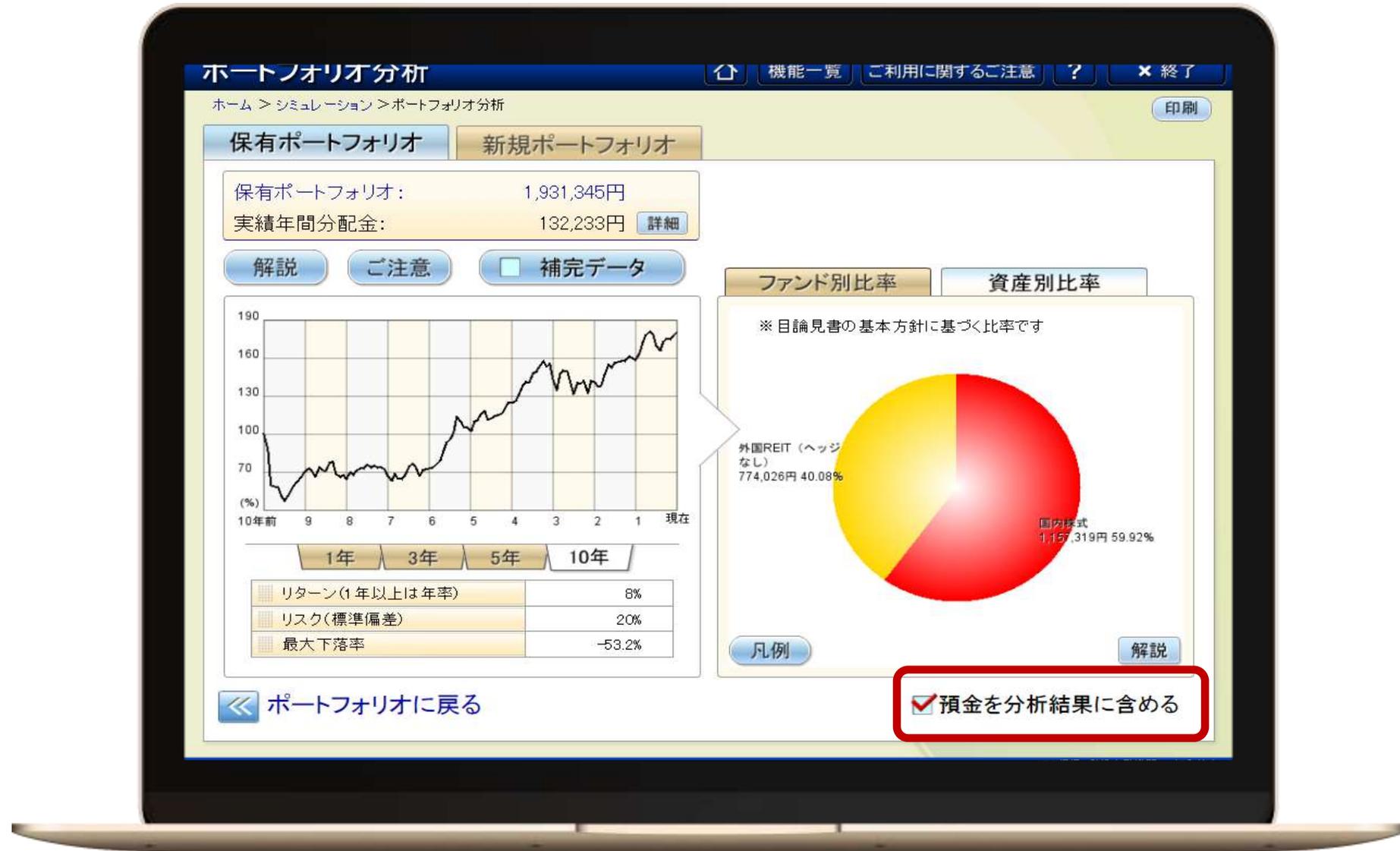




## 分析機能

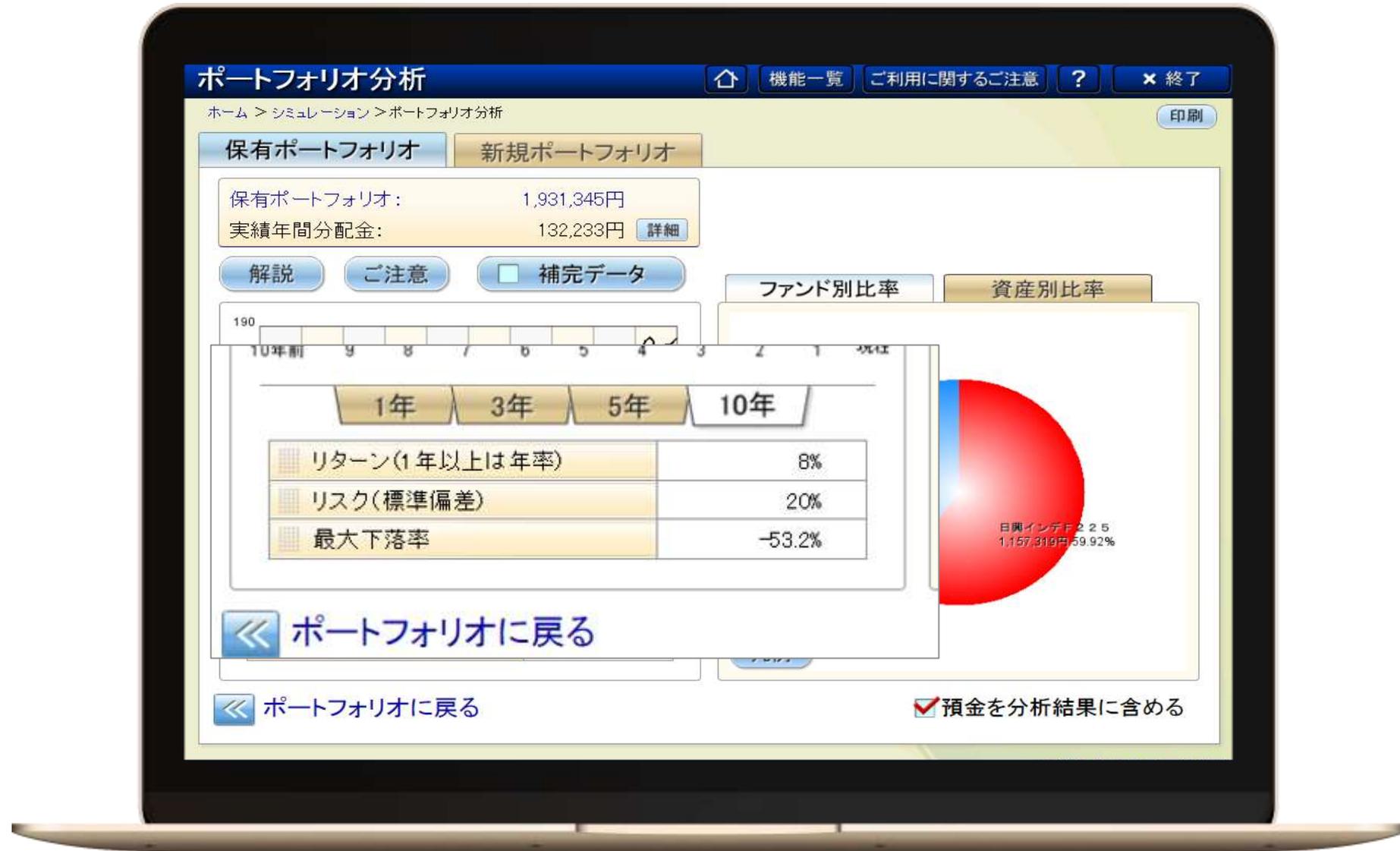
損益分析から取得したデータを読み出したら、分析ボタンをクリックします。

すると、資産残高推移や、保有資産の比率、各期間（1年、3年、10年など）ごとのリターン、リスク、最大下落率が表示されます。



## 組み入れ比率

円グラフは資産別比率とファンド別比率の表示で切り替えが可能です。預金を分析結果に含める・含めないの切り替えも可能です。



## 最大下落率

ポートフォリオ分析機能を使用し、最大下落率が53%を超えていることが確認できます。

とてもリスクの高い金融商品であることをご理解いただいたうえで新しいポートフォリオ提案につなげます。

# ポートフォリオ分析 実践編

## お客様との会話事例



アドバイザー：「この10年間で一番値下がりした時はマイナス53%、つまり半値以下になる可能性もありますね。」  
「株式とリートだけへの投資だとやはりリスクが高まります。」

お客様：「どうしたらいいんだろう？」

アドバイザー：「はい。」  
「ハイールド債券に投資するファンドを200万円ほど組み入れてみると・・・」



### ポイント



ハイールド債券ファンドを選ぶにあたり、ファンド検索機能を使って20年以上の運用実績、リートや株投を除外していくと必然的にハイールド債券ファンドや、新興国債券ファンドが抽出される確率が上がります。

ここではフィデリティハイールドボンドオープンを200万円新規で購入した場合のシミュレーションをしてみます。

# ポートフォリオ分析 実践編

お客様のポートフォリオを確認・リバランスを提案しよう

## ポートフォリオ比較

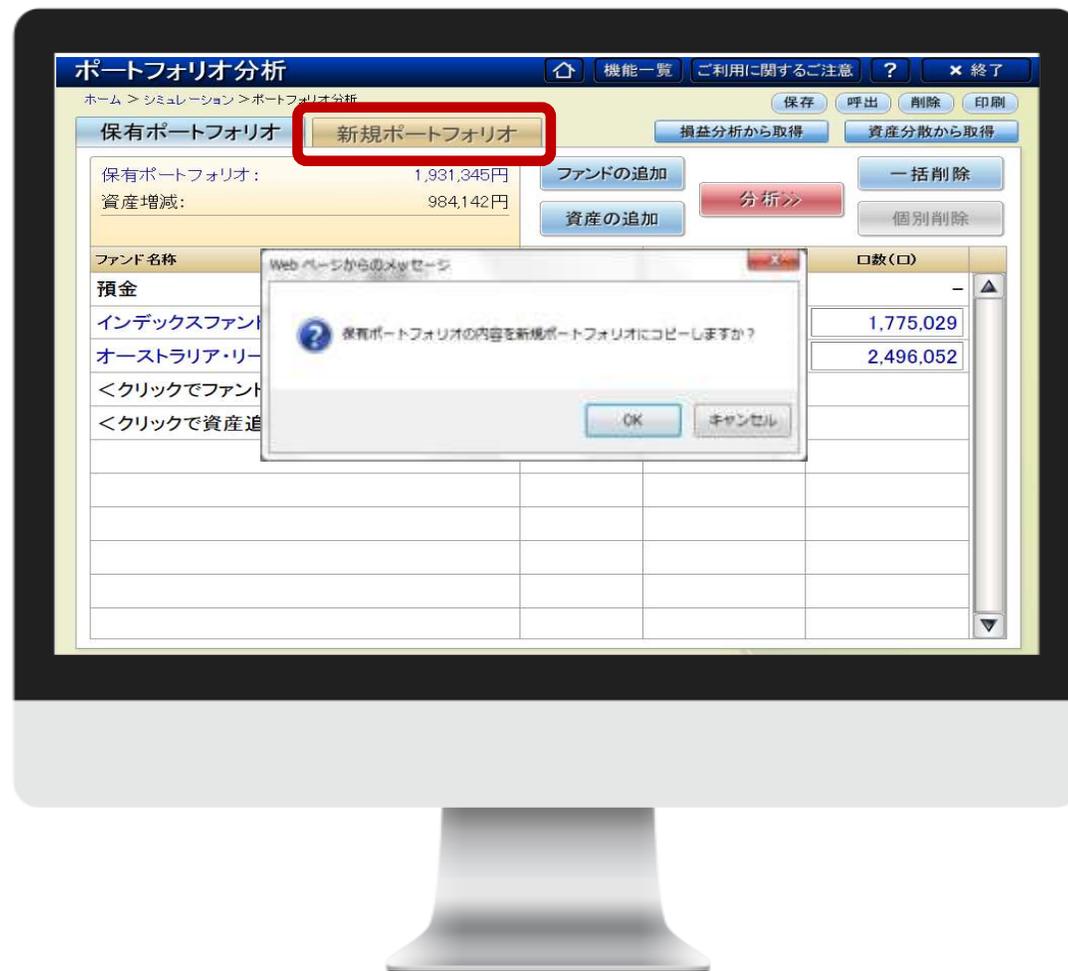
- 新規ポートフォリオタブをクリックすると、保有ポートフォリオをコピーする機能を使用できます。  
この機能を使用することで提案前と提案後の比較が容易になります。

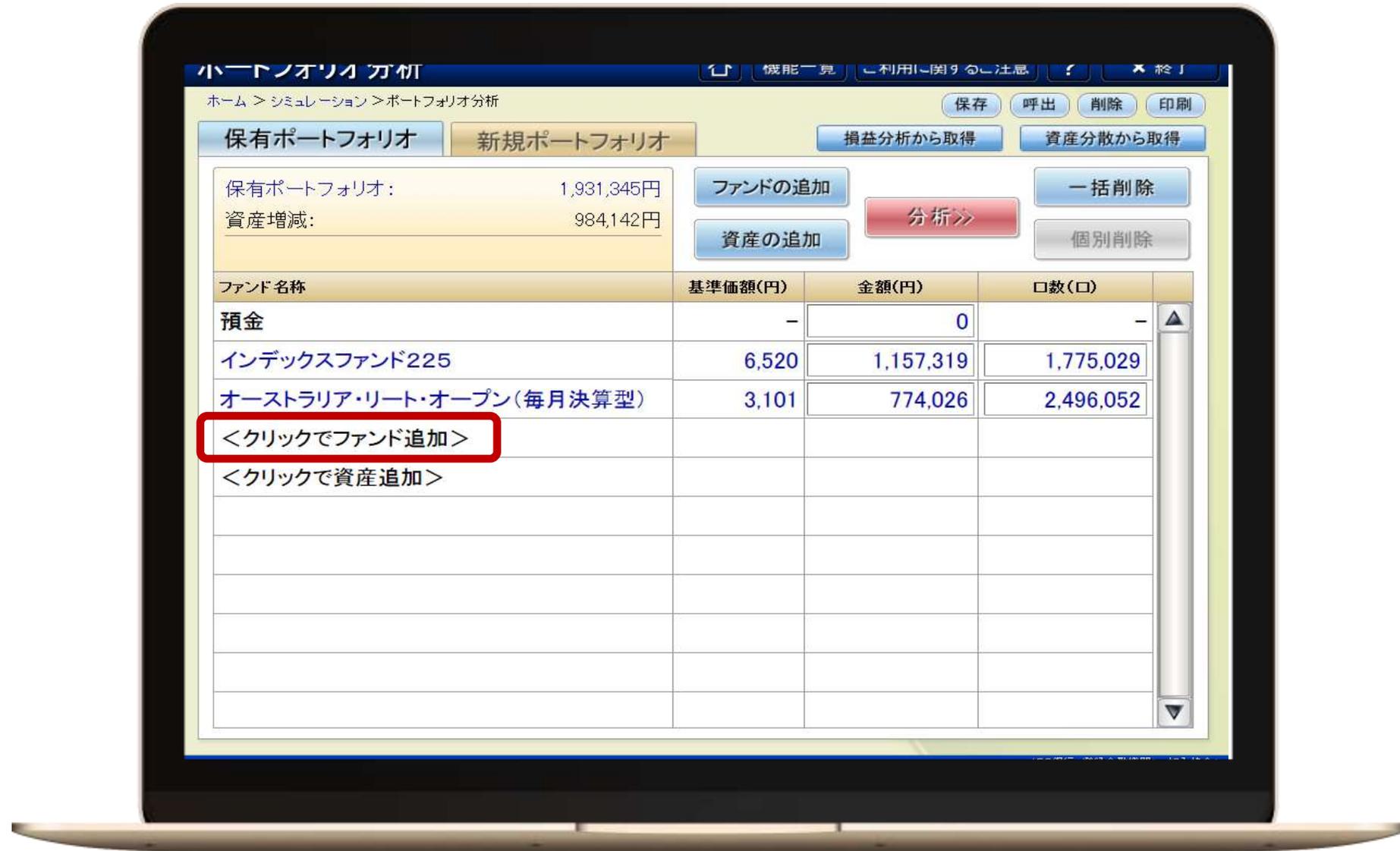
## 新規購入 シミュレーション

- ここではフィデリティハイイールドボンドオープンを200万円新規で購入した場合のシミュレーションをしてみます。

## ファンド選び

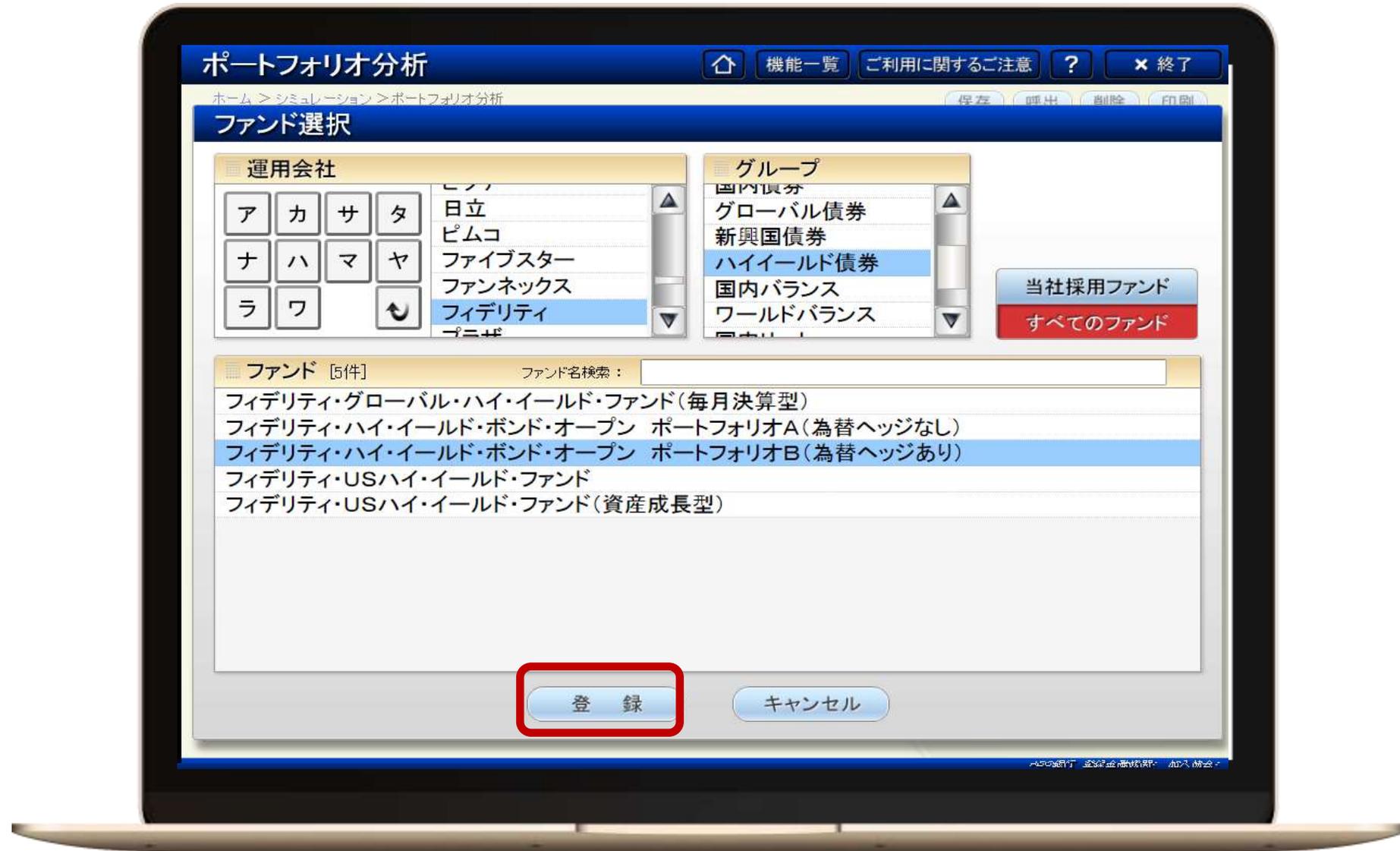
- ファンド検索機能で運用期間20年以上を選択し、リートや株投を除外していくとハイイールド債券ファンドや、新興国債券ファンドが抽出される確率が上がります。





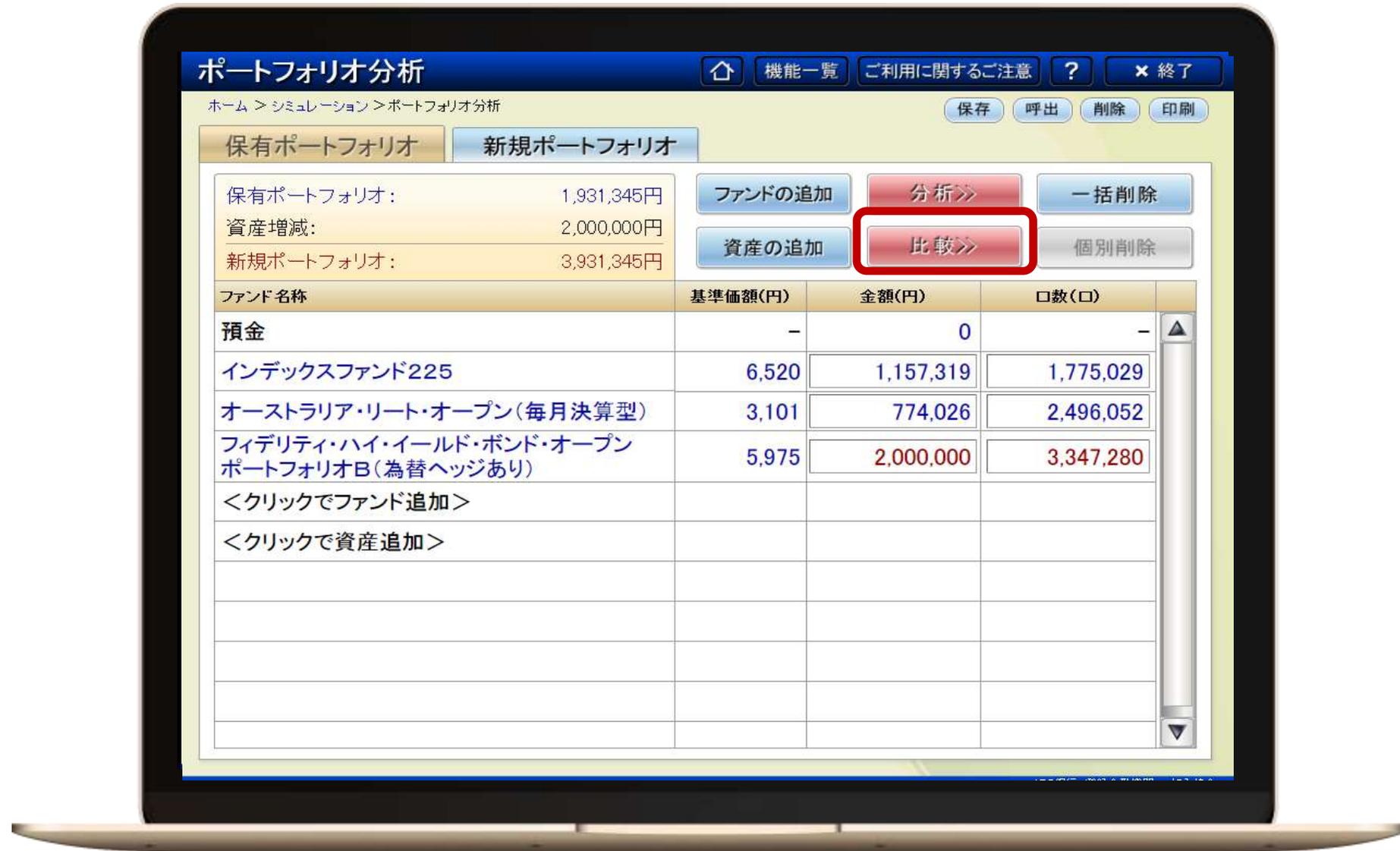
## 新規ファンド追加

<クリックでファンドを追加> をクリックし、ファンドを選択します。購入金額を入力し、比較ボタンを押すと新しいポートフォリオと保有ポートフォリオの比較が表示されます。



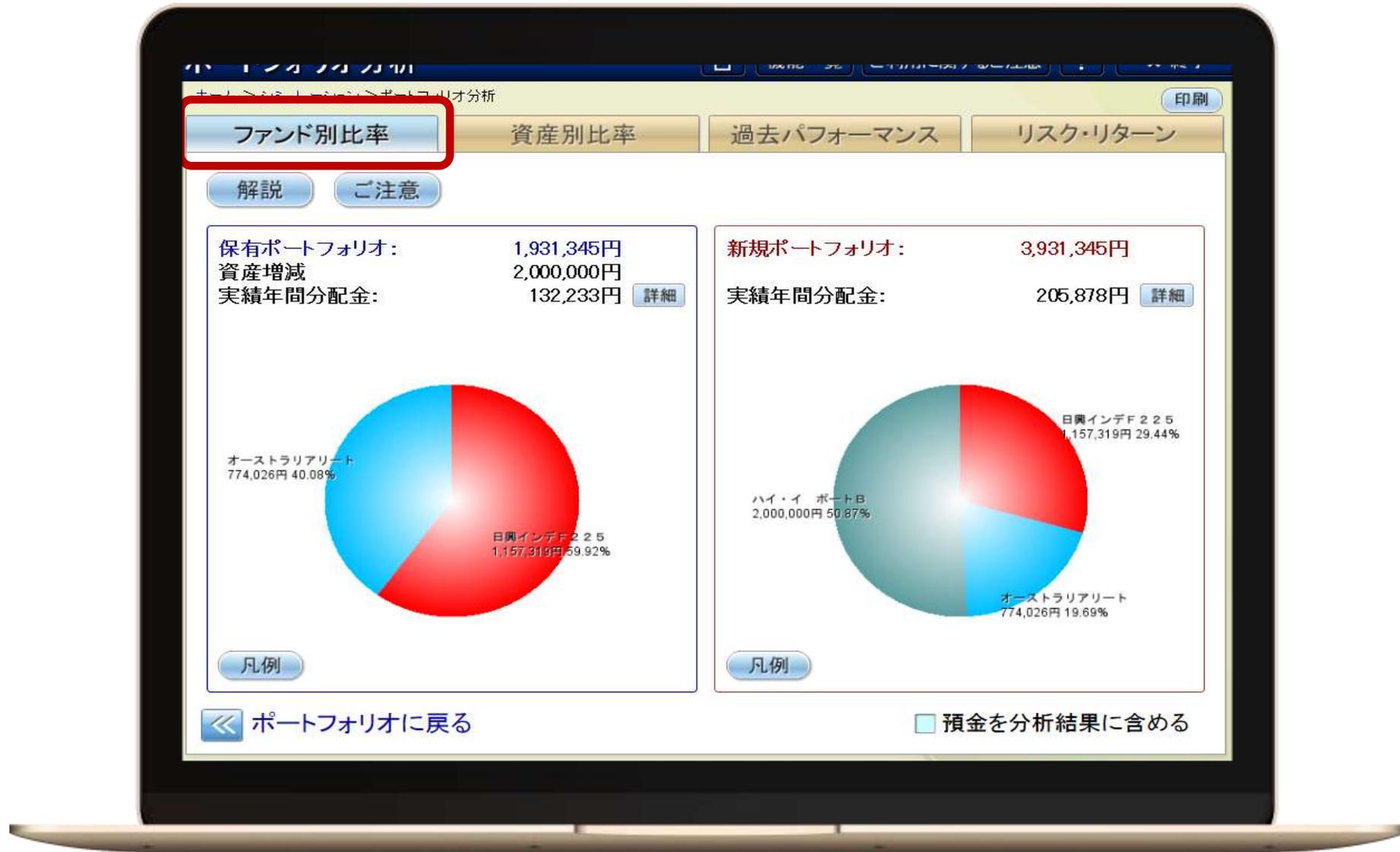
## 新規ファンド追加

<クリックでファンドを追加> をクリックし、ファンドを選択します。購入金額を入力し、比較ボタンを押すと新しいポートフォリオと保有ポートフォリオの比較が表示されます。



## 新規ファンド追加

<クリックでファンドを追加> をクリックし、ファンドを選択します。購入金額を入力し、比較ボタンを押すと新しいポートフォリオと保有ポートフォリオの比較が表示されます。



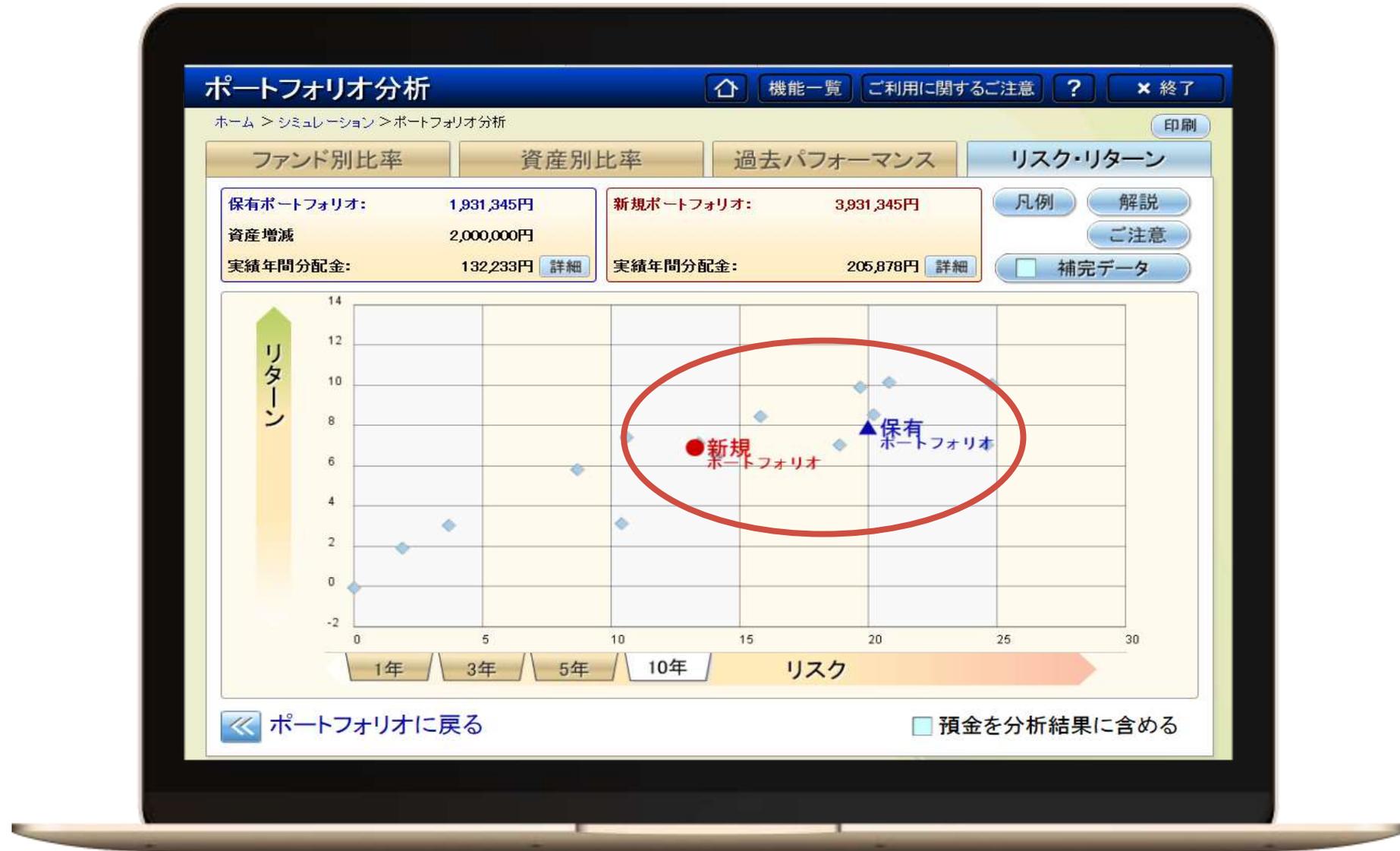
## 保有比率

ファンド別比較タブでは円グラフでファンド別の保有比率が確認いただけます。



## 過去パフォーマンス比較

過去パフォーマンスタブをクリックすると最大下落率の比較が可能です。**53.2%**だった最大下落率が**37.5%**にまで低下していることがご確認いただけます。



## リスク・リターンを確認

ポートフォリオ分析のリスク・リターンタブを押していただくと、分布図内の保有ポートフォリオと新規モデルポートフォリオのリターンがそれほど低下しないにも関わらず、リスクが大きく低下している様子を視覚的にご確認いただけます。

# ポートフォリオ分析 実践編

お客様との会話事例



アドバイザー：  
「リスクが大きく下がりました。」

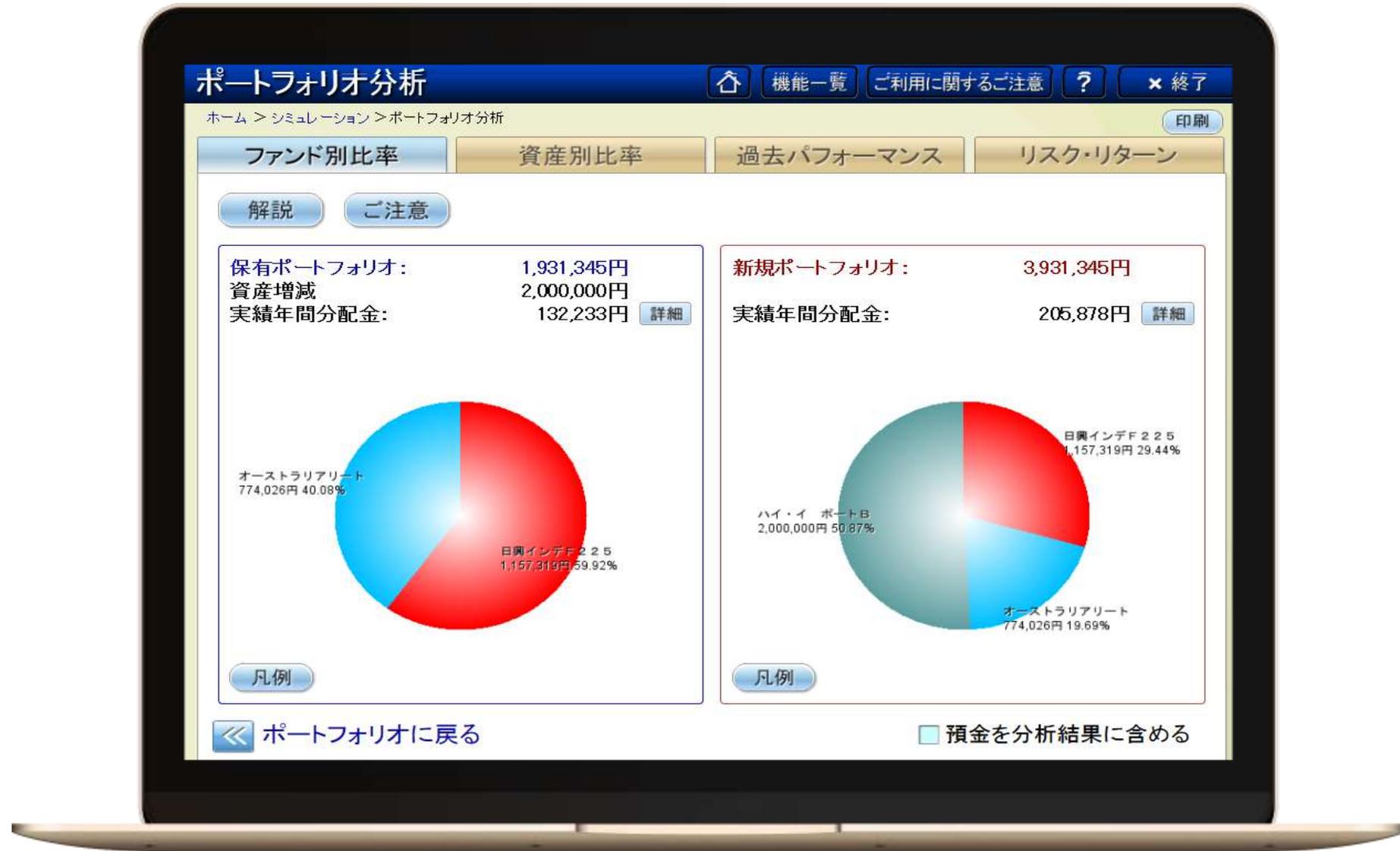
お客様：「ほほー」

アドバイザー：  
「はい。こんなもんです。」



## ポイント

ここで比較対象のファンドへの乗り換えや追加を提案し、約定につなげましょう。



## ポイント

ポートフォリオ分析のファンド別比較で【預金を分析結果に含める】のチェックを外すことでモデルポートフォリオのファンド別比率が表示され、分散投資されている様子をご確認いただけます。

お問い合わせは 投信NAV Iサポートセンター

**0120-104-529**

受付時間 平日8:30~17:30

©一般社団法人 資産形成支援協会

この資料で表示されているファンド検索結果や損益分析のシミュレーション結果は日々変動しており、資料と同一の結果とならない場合がございます。また、過去の運用実績をもとにしたシミュレーション結果は将来の運用成績を示唆あるいは保証するものではありません。また、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。